



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/43号 2022/3/1

◆理科部 県生物学会発表！！

1月9日（日）県生物学会が開催され、本校からは2班5名が参加し、日頃の研究成果を発表しました。

オキヒラシノミガイについての研究は、全国高総文祭に出場した3年生の研究を引き継いだものです。繁殖生態についての研究に取り組んでいます。

カワヨシノボリの研究は、約40年ぶりに本県川棚川上流域での生息が確認されたことが発端です。正確な個体数や生息域の把握、川棚産が属する型の同定を目的に研究しています。

直前でオンライン開催に変更になりましたが、専門家からも様々なアドバイスや研究している生き物に関する情報を頂くことができました。今後の研究の進展がとても楽しみです。



オンラインでの発表のようす

◆課題発見セミナー（家政科2年）

1月14日（金）、山口大学知的財産センターより陳内 秀樹先生をお招きし、「課題発見セミナー」を開催しました。

これは、身近な事象を科学的な視点で捉え、新たな問題を発見する力を育成するとともに、探究の手法や知的財産についての知識を獲得し、課題研究に活用することを目的に開催するものです。今回は、企業課題の解決について発想の仕方、家政科課題研究に係るデータの取り方と分析および知的財産権について、講義を中心としたセミナーを実施しました。

生徒の感想からも、充実したセミナーだったことが読み取れます。

- 日常生活の身近なところにたくさんの不思議が隠れていた、疑問を持つことが大切なんだということがわかりました。
- 課題を見つけるには、日頃の心構えが大切。知識より意識!!
- 今、人がしていることもいつの間にかAIがしていると思う。自分がその中でも活躍できるように、自ら課題を発見し解決していく力をつけたい!!
- 自分の住んでいる地域の新たな発見も出来たし、自分だけの課題がみんなの課題に広がることにとても驚きました。
- このような状況下で、対面の講義をしていただいたことを大切にしたいです。



◆課題探究を学校の文化へ

右のグラフは、この4年間の外部への発表の件数を表したものです。理科部、数理探究科ともSSH指定後大きく数を伸ばしていることがわかります。

SSH1期生が入学したのが平成30年4月。お手本らしいお手本もなく、生徒も教員もがむしゃらに課題研究に取り組みました。令和元年に入学した2期生はその先輩の姿を見て育ったおかげで、レベルの高い研究を行うことが出来ました。文部科学大臣賞をはじめ、県内外のコンテスト等で優秀な成績を収めたことは、一般の生徒はもちろん、教職員にも大きな感動と勇気を与えました。

今、SSH3期生（2年生）と4期生（1年生）が、「先輩を越えろ」を合言葉に、懸命に頑張っています。1月末からの新型コロナウイルス感染症の急拡大により、探究活動の中断を余儀なくされていますが、きっとこの逆境を跳ね除け、素晴らしい成果を挙げるものと信じています。

SSH2期生のみなさん、卒業おめでとうございます。そしてありがとうございました。



SSH活動の詳細は、下記URLまたは2次元コードから
→ <http://www.news.ed.jp/omura-h/ssh/SSH.html>

理科部



数理探究科



図 外部発表件数の推移（R3は1月末現在）